科目名: **国語 3a** 英文名: Japanese 3a			
担当者: 溝口博幸　安田俊		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週　ガイダンスおよび 山月記(中島敦)
[予習内容]:本文を読み、わからない語彙などを調べる(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分)

第 2週　山月記(中島敦))
[予習内容]:漢字クリア第 45 回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分)

第 3週　山月記(中島敦)
[予習内容]:段落のつながりや構成について考察する(60 分)
[復習内容] 学習課題ノートを復習として記入する(30 分)

第 4週　山月記(中島敦)
[予習内容]:漢字クリア第 46 回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分)

第 5週　最初のペンギン(茂木健一郎)
[予習内容]:段落のつながりや構成について考察する(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分)

第 6週　最初のペンギン(茂木健一郎)
[予習内容]:漢字クリア第 47 回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分)

第 7週　最初のペンギン(茂木健一郎)
[予習内容]:段落のつながりや構成について考察する(60 分)
[復習内容]:学習課題ノートを復習として記入する(30 分)

第 8週　第1週から 7 週までの総復習
中間試験とその復習・フィードバックを実施

第 9週　カフェの開店準備(小池昌代)
[予習内容]:本文を読み、わからない語彙などを調べる(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分)

第10週　カフェの開店準備(小池昌代)
[予習内容]:漢字クリア第 48 回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理まどをする(30 分)

第11週　カフェの開店準備(小池昌代)
[予習内容]:段落のつながりや構成について考察する(60 分)
[復習内容]:学習課題ノートを復習として記入する(30 分)

第12週　言葉は世界を切り分ける(今井むつみ)
[予習内容]:漢字クリア第 49 回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分)

第13週　言葉は世界を切り分ける(今井むつみ)
[予習内容]:本文を読み、わからない語彙などを調べる(60 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分)

第14週　言葉は世界を切り分ける(今井むつみ)
[予習内容]:漢字クリア第 50 回の書き取り練習をする(60 分)
[復習内容]:学習課題ノートを復習として記入する(30 分)

第15週　第 9 週から 14 週までの総復習
[予習内容]:これまでの学習項目の質問点を整理する(60 分)
[復習内容]:質問点の考察内容を復習する(30 分)

定期試験　期末試験の実施とその復習・フィードバックを実施
(試験時間各 50 分)

授　業　概　要

■授業概要・方法等
近代以降の様々な文章を読むことを通し、思考力を深め、進んで表現し、人生を豊かにする態度の育成を行ないます。

■使用言語
日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (D-G1)日本漢字能力検定2級程度の常用漢字の読みや書く能力を持つ。
2. (D-G1)文章の組立て、語句の意味などを理解し、語彙を豊かにする。
3. (D-G1)様々な文章を読むことを通して、自分の考えを深めたり発展させたりする。
ことができるようになります。
この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーD の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
定期試験の後に、出題問題について一緒に考え復習をすることでフィードバックを行なう。漢字小テストなどの場合も間違いの傾向などを整理して提示する。

■教科書
『新編現代文 B』東京書籍

■参考文献
教科書準拠の学習課題集、『常用漢字クリア(四訂版)』尚文出版

■関連科目
特になし

■成績評価方法および基準　種類:定期試験(2 回)・小テスト・課題,
方式: 記述式
定期考査成績:定期試験(50%)、小テスト(30%)、ノート課題・学習課題ノート内の問題など(20%)として評価します。 ただし夏休みの課題は提出必須であり、未提出の場合は成績が付きません。
定期試験は中間・期末の 2 回。
最終成績: 定期考査成績の平均点とします。
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
漢字学習、「学習課題ノート」を使用した予習・復習
漢字小テストの実施や学習課題ノートを使用した学習項目のまとめを授業で行い、予習復習の確認をする。
10月に「学修時間に関する調査」を実施します。

■教員所在場所
溝口:図書館1階、安田:本館 1 階学生部

■授業評価アンケート実施方法
10 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
溝口:mizo@ktc.ac.jp、安田:s-yasuda@ktc.ac.jp

■オフィスアワー
溝口:月曜日(12:40～13:25)、安田:月曜日(12:40～13:25)

科目名: 国語 3b 英文名: Japanese 3b			
担当者: 溝口博幸 安田俊		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 ガイダンスおよび 鞄(阿部公房) [予習内容]:本文を読み、わからない語彙などを調べる(60 分) [復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分) 第 2週 鞄(阿部公房) [予習内容]:漢字クリア第 51 回の書き取り練習をする(60 分) [復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分) 第 3週 鞄(阿部公房) [予習内容]:段落のつながりや構成について考察する(60 分) [復習内容] 学習課題ノートを復習として記入する(30 分) 第 4週 もう一つの知性(姜尚中) [予習内容]:漢字クリア第 52 回の書き取り練習をする(60 分) [復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分) 第 5週 もう一つの知性(姜尚中) [予習内容]:段落のつながりや構成について考察する(60 分) [復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分) 第 6週 もう一つの知性(姜尚中) [予習内容]:漢字クリア第 53 回の書き取り練習をする(60 分) [復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分) 第 7週 言葉の扉 的確に表現するために [予習内容]:段落のつながりや構成について考察する(60 分) [復習内容]:学習課題ノートを復習として記入する(30 分) 第 8週 第1週から 7 週までの総復習 中間試験とその復習・フィードバックを実施 第 9週 ホンモノのおカネの作り方(岩井克人) [予習内容]:本文を読み、わからない語彙などを調べる(60 分) [復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分) 第10週 ホンモノのおカネの作り方(岩井克人) [予習内容]:漢字クリア第 54 回の書き取り練習をする(60 分) [復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分) 第11週 ホンモノのおカネの作り方(岩井克人) [予習内容]:段落のつながりや構成について考察する(60 分) [復習内容]:学習課題ノートを復習として記入する(30 分) 第12週 未来のありか(若林幹夫) [予習内容]:漢字クリア第 55 回の書き取り練習をする(60 分) [復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分) 第13週 未来のありか(若林幹夫) [予習内容]:本文を読み、わからない語彙などを調べる(60 分) [復習内容]:授業内容を復習し、ノート整理などをする(30 分) 第14週 未来のありか(若林幹夫) [予習内容]:漢字クリア第 56 回の書き取り練習をする(60 分) [復習内容]:学習課題ノートを復習として記入する(30 分) 第15週 第 9 週から 14 週までの総復習 [予習内容]:これまでの学習項目の質問点を整理する(60 分) [復習内容]:質問点の考察内容を復習する(30 分) 定期試験 期末試験の実施とその復習・フィードバックを実施 (試験時間各 50 分)	■授業概要・方法等 近代以降の様々な文章を読むことを通し、思考力を深め、進んで表現し、人生を豊かにする態度の育成を行ないます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (D-G1)日本漢字能力検定2級程度の常用漢字の読みや書く能力を持つ。 2. (D-G1)文章の組立て、語句の意味などを理解し、語彙を豊かにする。 3. (D-G1) 文章の組立て、語句の意味などを理解し、語彙を豊かにする。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーD の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 定期試験の後に、出題問題について一緒に考え復習をすることでフィードバックを行なう。漢字小テストなどの場合も間違いの傾向などを整理して提示する。 ■教科書 『新編現代文 B』東京書籍 ■参考文献 教科書準拠の学習課題集、『常用漢字クリア(四訂版)』尚文出版 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2 回)・小テスト・課題, 方式: 記述式 定期考査成績:定期試験(50%)、小テスト(30%)、ノート課題・学習課題ノート内の問題など(20%)として評価します。 定期試験は中間・期末の 2 回。 最終成績: 定期考査成績の平均点とします。 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上〜90 点未満「優」GP「3」、70 点以上〜80 点未満「良」GP「2」、60 点以上〜70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 漢字学習、「学習課題ノート」を使用した予習・復習 漢字小テストの実施や学習課題ノートを使用した学習項目のまとめを授業で行い、予習復習の確認をする。 2 月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 溝口:図書館1階、安田:本館 1 階学生部 ■授業評価アンケート実施方法 2 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス 溝口:mizo@ktc.ac.jp 、安田:s-yasuda@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 溝口:月曜日(12:40〜13:25)、安田:月曜日(12:40〜13:25)

科目名: **英語 3a** 英文名: English 3a			
担当者: 奈須 健 高畑時子 オルダネス・ジェームズ 花巻昌子 福岡玲子 藤川雅行		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:担当者によって異なる。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 2.5	授業形態: 講義 習熟度別クラス編成	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 Lesson 1:Happy Nations Part1 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第 2週 Lesson 1:Happy Nations Part2 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第 3週 Lesson 1:Happy Nations Part3 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第 4週 Lesson 2:"Gamification": Games May Save the World Part1 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第 5週 Lesson 2: "Gamification": Games May Save the World Part2 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第 6週 Lesson 2: "Gamification": Games May Save the World Part3 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第 7週 Lesson 3:Spider Silk Spun into Violin Strings Part1-2 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第 8週 第 1 週～第 7 週までに学んだことについて総復習。中間試験。 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第 9週 答案返却・解答。Lesson 3:Spider Silk Spun into Violin Strings Part3 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第10週 Lesson 4:Can Cellphone Recycling Help African Gorillas? Part1-2 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第11週 Lesson 4: Can Cellphone Recycling Help African Gorillas? Part3 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第12週 Lesson 4: Can Cellphone Recycling Help African Gorillas? Part4 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第13週 Lesson 5:Gagaku, the Music of the Universe Part1 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第14週 Lesson 5:Gagaku, the Music of the Universe Part2 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 第15週 Lesson 5: Gagaku, the Music of the Universe Part3 [予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。 [復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。 定期試験 第 9 週～第 15 週までの内容について筆記試験を行う。 (試験時間 50 分)	■授業概要・方法等 英語コミュニケーション能力の基礎を発展させる活動を行います。教科書に沿った授業展開をし、日々の課題や提出物、小テストなどをこなしながら、英語を読む、書く、聞く、話す訓練を総合的に行います。さらに情報や考えを的確に理解し伝える能力を養います。週 4 時間の授業のうち 1 時間はネイティブ教員が担当してオールイングリッシュで授業を行い、英会話能力の向上に努めます。習熟度に応じて 5 クラスに分かれます。 ■使用言語 日本語・英語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2) 教科書に出てきた単熟語、英文法、構文を習得する。 2. (E-G2) 教科書を学ぶことにより、読む、書く、聞く、話す活動を行う。 3. (E-G2) 英語や英語圏の文化について興味を持ち、英語の運用を身に着け、その背景にある文化などを理解する。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー E の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に模範解答と学生の試験開示を個々に行います。課題は基本的に提出した次の授業時に回収して、添削・採点の上、間違いが多い点や重要な点などを解説します。 ■教科書 Vivid Ⅲ 第一学習社 (ISBN 978-4-8040-1070-0) Vivid Ⅲ ワークブック 第一学習社 (ISBN 978-4-8040-1599-6) ■参考文献 紙 or 電子辞書で、自分の使いやすい辞書を一冊用意し、普段から分からない単語を調べることを習慣にする。 ■関連科目 英語演習1、TOEIC プラス。他に、英語 2～4、英語演習 2～4. ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2 回), 方式: 記述式 定期試験共通テスト 70%、小テスト＋課題 10%、Oral Communication 20% で評価します。最終成績は、2 回の定期考査成績の平均点とします。 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 左記に記載した予習・復習に取り組むこと。 10 月に学修時間に関する調査を実施します。 ■教員所在場所 奈須:本館 2F 寮務部、高畑:図書館 2F 学習指導室、オルダネス:図書館 1F 国際交流部、花巻・福岡・藤川:2 号館 2F 共通教育科教員室 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス 奈須:nasu@ktc.ac.jp、高畑: takahata@ktc.ac.jp、 オルダネス:james@ktc.ac.jp、花巻:hanamaki@ktc.ac.jp、 福岡:fukuoka@ktc.ac.jp、藤川:fujikawa@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 授業中に、各クラスにて指示します。

科目名: 英語 3b 英文名: English 3b			
担当者: 奈須 健 高畑時子 オルダネス・ジェームズ 花巻昌子 福岡玲子 藤川雅行		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:担当者によって異なる。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当無し ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当無し	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 2.5	授業形態: 講義 習熟度別クラス編成	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週 Lesson 5: Gagaku, the Music of the Universe Part4
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第 2週 Lesson 6:Etymology: Wonders of Words Part1-2
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第 3週 Lesson 6:Etymology: Wonders of Words Part3-4
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第 4週 Lesson 7:A Lesson from Steve Job's Life Part1
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第 5週 Lesson 7:A Lesson from Steve Job's Life Part2
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第 6週 Lesson 7:A Lesson from Steve Job's Life Part3
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第 7週 Lesson 7:A Lesson from Steve Job's Life Part4
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第 8週 第 1 週～第 7 週までに学んだことについて総復習。中間試験。
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第 9週 答案返却・解答。Lesson 8:Water:The Biggest Problem in the Century Part 1
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第10週 Lesson 8:Water:The Biggest Problem in the Century Part2
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第11週 Lesson 8:Water:The Biggest Problem in the Century Part3
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第12週 Lesson 8:Water:The Biggest Problem in the Century Part4
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第13週 Lesson 9:A Lucky Child Part1
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第14週 Lesson 9:A Lucky Child Part2
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

第15週 Lesson 9:A Lucky Child Par3-4
[予習内容]:(30 分):単熟語を調べ、内容の把握に努める。
[復習内容]:(30 分):教科書やノートを再読し、理解を深める。

定期試験 第 9 週～第 15 週までの内容について筆記試験を行う。
(試験時間 50 分)

授 業 概 要

■授業概要・方法等
英語コミュニケーション能力の基礎を発展させる活動を行います。教科書に沿った授業展開をし、日々の課題や提出物、小テストなどをこなしながら、英語を読む、書く、聞く、話す訓練を総合的に行います。さらに情報や考えを的確に理解し伝える能力を養います。週 4 時間の授業のうち 1 時間はネイティブ教員が担当してオールイングリッシュで授業を行い、英会話能力の向上に努めます。習熟度に応じて 5 クラスに分かれます。

■使用言語
日本語・英語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (E-G2) 教科書に出てきた単熟語、英文法、構文を習得する。
2. (E-G2) 教科書を学ぶことにより、読む、書く、聞く、話す活動を行う。
3. (E-G2) 英語や英語圏の文化について興味を持ち、英語の運用を身に着け、その背景にある文化などを理解する。
ことができるようになります。
この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシー E の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
試験終了後に模範解答と学生の試験開示を個々に行います。課題は基本的に提出した次の授業時に回収して、添削・採点の上、間違いが多い点や重要な点などを解説します。

■教科書
Vivid Ⅲ 第一学習社
(ISBN 978-4-8040-1070-0)
Vivid Ⅲ ワークブック 第一学習社
(ISBN 978-4-8040-1599-6)

■参考文献
紙 or 電子辞書で、自分の使いやすい辞書を一冊用意し、普段から分からない単語を調べることを習慣にする。

■関連科目
英語演習1、TOEIC プラス。他に、英語 2～4、英語演習 2～4.

■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2 回), 方式: 記述式
定期試験共通テスト 70%、小テスト＋課題 10%、Oral Communication 20%で評価します。最終成績は、2 回の定期考査成績の平均点とします。
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
左記に記載した予習・復習に取り組むこと。
2 月に学修時間に関する調査を実施します。

■教員所在場所
奈須:本館 2F 寮務部、高畑:図書館 2F 学習指導室、オルダネス:図書館 1F 国際交流部、花巻・福岡・藤川:2 号館 2F 共通教育科教員室

■授業評価アンケート実施方法
2 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス 奈須:nasu@ktc.ac.jp、高畑: takahata@ktc.ac.jp、
オルダネス:james@ktc.ac.jp、花巻:hanamaki@ktc.ac.jp、
福岡:fukuoka@ktc.ac.jp、藤川:fujikawa@ktc.ac.jp

■オフィスアワー
授業中に、各クラスにて指示します。

科目名： **微積分学Ⅱa** 英文名： Differential and Integral Ⅱa			
担当者： 伊藤豊治　鍬田英也　西口浩平 小西正秀　八木雅美		開講年度： 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容： 該当なし		アクティブ・ラーニングの形態： グループワーク等 ICT を活用したアクティブ・ラーニング： 該当あり	
工学科： 総合システム	学年： 3	開講期： 前期	コース：
科目種別： 必修	単位数： 2.5	授業形態：講義 習熟度別クラス編成	単位の種別： 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週　積分法 不定積分と定積分(不定積分)
[予習内容]: 不定積分について調べること(30 分)
[復習内容]:問題集や配布プリントを解答すること。(30 分)

第 2週　積分法 不定積分と定積分(いろいろな不定積分の公式)
[予習内容]: いろいろな不定積分の公式について調べること(30 分)
[復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分)

第 3週　積分法 積分の計算(置換積分法、部分積分法)
[予習内容]: 置換積分法、部分積分法について調べること(30 分)
[復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分)

第 4週　積分法 積分の計算(いろいろな関数の積分)
[予習内容]: いろいろな関数の積分について調べること(30 分)
[復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分)

第 5週　積分法 不定積分と定積分(定積分の計算)
[予習内容]: 定積分の計算について調べること(30 分)
[復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分)

第 6週　積分法 不定積分と定積分(微分積分法の基本定理)
[予習内容]: 微分積分法の基本定理について調べること(30 分)
[復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分)

第 7週　積分法 不定積分と定積分(定積分の計算)
[予習内容]: 定積分の計算について調べること(30 分)
[復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分)

第 8週　積分法 定積分の計算(定積分の置換積分法と部分積分法)
[予習内容]: 部分積分法について調べること(30 分)
[復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分)

第 9週　答案返却・解答
不定積分・定積分の復習
[予習内容]:今までに学んだ不定積分法を復習する。(30 分)
[復習内容]:問題集や配布プリントを解答すること。(30 分)

第10週　不定積分・定積分の復習
[予習内容]:今までに学んだ定積分法を復習する。(30 分)
[復習内容]:問題集や配布プリントを解答すること。(30 分)

第11週　積分法 積分の計算(置換積分法・部分積分法の応用)
[予習内容]: 置換・部分積分法の応用について調べること(30 分)
[復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分)

第12週　積分法 定積分の計算(いろいろな関数の積分)
[予習内容]:いろいろな関数の定積分について調べること。(30 分)
[復習内容]:問題集や配布プリントを解答すること。(30 分

第13週　積分法の応用 面積・曲線の長さ・体積(図形の面積)
[予習内容]: 図形の面積について調べること(30 分)
[復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分)

第14週　積分法の応用 面積・曲線の長さ・体積(曲線の長さ)
[予習内容]: 曲線の長さについて調べること(30 分)
[復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分)

第15週　積分法の応用 面積・曲線の長さ・体積(立体の体積)
[予習内容]: 立体の体積について調べること(30 分)
[復習内容]: 授業内容を復習し，理解すること(30 分)

定期試験
第 1 週から第 8 週までの講義内容について筆記試験(中間考査)を行う。(試験時間 50 分)
第 9 週から第 15 週までの講義内容について筆記試験(期末考査)を行う。(試験時間 50 分)

授　業　概　要

■授業概要・方法等
積分法について基本的概念とその内容について学びます。
■使用言語
日本語
■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって，
1. (A-G1)それぞれの語句の意味を説明する。
2. (A-G1)それぞれの基本的計算をする。
3. (A-G1)それぞれの基礎的な計算をする。
4. (A-G1)それぞれの簡単な応用問題を解く。
5. (A-G1)それぞれの高度な応用問題を解く。
ことができるようになります。
習熟度 S クラスは 1～4、A1 クラスは 1～3、A2、A3、B クラスは 1～2 を達成目標とします。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。
■試験・課題に対するフィードバック方法
試験終了後に，模範解答と学生の試験開示を個々に行う。授業中の課題については，授業時間内に解答する。
■教科書
新微分積分Ⅰ　大日本図書　ISBN978-4-477-02642-8
新微分積分Ⅰ問題集　大日本図書　ISBN978-4-477-02644-2
各担当者作成プリント
■参考文献　なし
■関連科目　物理，各専門科目
■成績評価方法および基準
種類:定期試験(2 回)，方式:　記述式
定期考査成績:定期試験、課題・レポート・小テストを総合して評価します。
S クラス:　定期試験 60%　課題点 40%、A1 クラス:　定期試験 70%　課題点 30%、A2、A3、B クラス:定期試験 80%　課題点 20%
最終成績:2 回の定期考査成績の平均とします。
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められた場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。
■授業時間外に必要な学修:準備学習（予習・復習等）
予習および復習は、期限までに Google classroom または担当者へ提出すること。10 月に「学修時間に関する調査」を実施します。
■教員所在場所
伊藤豊治:本館 2 階 企画広報、鍬田英也:本館 1 階 学生部
西口浩平:本館 1 階 学生部、小西正秀:2 号館 2 階共通教育科
八木雅美:2号館2階 共通教育科
■授業評価アンケート実施方法
10 月に Web にてアンケートを実施します。
■メールアドレス
伊藤豊治:titoh@ktc.ac.jp、鍬田英也:kuwata@ktc.ac.jp
西口浩平:k.nishiguchi@ktc.ac.jp、小西正秀:m-konishi@ktc.ac.jp
八木雅美:m-yagi@ktc.ac.jp
■オフィスアワー
伊藤豊治:月・水曜日 12:45～13:30
鍬田英也:月・木曜日 12:45～13:30
西口浩平:月・木曜日 12:45～13:30
小西正秀:月・木曜日 12:45～13:30
八木雅美:月・火曜日:12:45～13:30

科目名: 微積分学Ⅱb 英文名: Differential and Integral Ⅱb			
担当者: 伊藤豊治 鍬田英也 西口浩平 小西正秀 八木雅美		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: グループワーク等 ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース:
科目種別: 必修	単位数: 2.5	授業形態:講義 習熟度別クラス編成	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 不定積分・定積分の復習 [予習内容]:今までに学んだ不定積分法を復習する。(30 分) [復習内容]:問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第 2週 不定積分・定積分の復習 [予習内容]:今までに学んだ定積分法を復習する。(30 分) [復習内容]:問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第 3週 積分法 積分の計算(置換積分法・部分積分法の応用) [予習内容]: 置換・部分積分法の応用について調べること(30 分) [復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第 4週 積分法 定積分の計算(いろいろな関数の積分) [予習内容]:いろいろな関数の定積分について調べること。(30 分) [復習内容]:問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第 5週 積分法の応用 いろいろな応用(媒介変数表示による図形) [予習内容]: 媒介変数表示による図形について調べること (30 分) [復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第 6週 積分法の応用 いろいろな応用(媒介変数表示による図形) [予習内容]: 媒介変数表示による図形について調べること(30 分) [復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第 7週 積分法の応用 いろいろな応用(極座標による図形) [予習内容]: 極座標による図形について調べること(30 分) [復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第 8週 積分法の応用 いろいろな応用(広義積分, 変化率と積分) [予習内容]: 広義積分, 変化率と積分について調べること(30 分) [復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第 9週 答案返却・解答 関数の展開 多項式による近似(1) [予習内容]: 多項式による近似について調べること(30 分) [復習内容]:問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第10週 関数の展開 多項式による近似(2) [予習内容]: 多項式による近似について調べること(30 分) [復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第11週 関数の展開 数列の極限 [予習内容]: 数列の極限について調べること(30 分) [復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第12週 関数の展開 級数 [予習内容]: 級数について調べること(30 分) [復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第13週 関数の展開 級数 [予習内容]: 級数について調べること(30 分) [復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第14週 関数の展開 べき級数とマクローリン展開 [予習内容]: べき級数とマクローリン展開について調べること(30 分) [復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 第15週 関数の展開 オイラーの公式 [予習内容]: オイラーの公式について調べること(30 分) [復習内容]: 問題集や配布プリントを解答すること。(30 分) 定期試験 第 1 週から第 8 週までの講義内容について筆記試験(中間考査)を行う。 (試験時間 50 分) 第 9 週から第 15 週までの講義内容について筆記試験(期末考査)を行う。 (試験時間 50 分)	■授業概要・方法等 積分法について基本的概念とその内容について学びます。 また、級数を通して、関数の展開、オイラーの公式について学びます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって, 1. (A-G1)それぞれの語句の意味を説明する。 2. (A-G1)それぞれの基本的計算をする。 3. (A-G1)それぞれの基礎的な計算をする。 4. (A-G1)それぞれの簡単な応用問題を解く。 5. (A-G1)それぞれの高度な応用問題を解く。 ことができるようになります。 習熟度 S クラスは 1～4、A1 クラスは 1～3、A2、A3、B クラスは 1～2 を達成目標とします。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に, 模範解答と学生の試験開示を個々に行う。授業中の課題については, 授業時間内に解答する。 ■教科書 新微分積分Ⅰ 大日本図書 ISBN978-4-477-02642-8 新微分積分Ⅰ問題集 大日本図書 ISBN978-4-477-02644-2 各担当者作成プリント ■参考文献 なし ■関連科目 物理, 各専門科目 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2 回), 方式: 記述式 定期考査成績:定期試験、課題・レポート・小テストを総合して評価します。 S クラス: 定期試験 60% 課題点 40%、A1 クラス: 定期試験 70% 課題点 30%、A2、A3、B クラス:定期試験 80% 課題点 20% 最終成績:2 回の定期考査成績の平均とします。 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められた場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習 (予習・復習等) 予習および復習は、期限までに Google classroom または担当者へ提出すること。2 月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 伊藤豊治:本館 2 階 企画広報、鍬田英也:本館 1 階 学生部 西口浩平:本館 1 階 学生部、小西正秀:2 号館 2 階共通教育科 八木雅美:2号館2階 共通教育科 ■授業評価アンケート実施方法 2 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス 伊藤豊治:titoh@ktc.ac.jp、鍬田英也:kuwata@ktc.ac.jp 西口浩平:k.nishiguchi@ktc.ac.jp、小西正秀:m-konishi@ktc.ac.jp 八木雅美:m-yagi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 伊藤豊治:月・水曜日 12:45～13:30 鍬田英也:月・木曜日 12:45～13:30 西口浩平:月・木曜日 12:45～13:30 小西正秀:月・木曜日 12:45～13:30 八木雅美:月・火曜日:12:45～13:30

科目名: 物理 3a 英文名: Physics 3a			
担当者: 畑山伸訓　山嵜敬太		開講年度: 2021年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 1.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授　業　概　要
「授業タイトル」 第 1週 「波源と媒質, 波長・振動数と波の速さ, 横波と縦波 正弦波」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 2週 「弦を伝わる横波, 重ね合わせの原理と波の独立性」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 3週 「波の干渉, 反射による位相の変化」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 4週 「定常波, 弦に生ずる定常波」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 5週 回折, ホイヘンスの原理」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 6週 「反射の法則, 屈折の法則」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 7週 「全反射, ドップラー効果」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 8週 「音の三要素, 音の速さ」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 9週 「答案返却・解答, 共鳴, うなり」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第10週 「光, 光速度」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第11週 「反射と屈折, プリズムによる屈折」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第12週 「光路長, 2 本のスリットによる回折と干渉」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第13週 「薄膜による干渉, ニュートンリング」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第14週 「偏光, 光のスペクトル」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第15週 「光学機器(レンズ、光ファイバー等)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) (試験時間 50 分)	■授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、自然界に現れるさまざまな現象(波動・光・電磁気など)の法則性や考え方を学びます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(D-G1)波動に関する様々な法則(公式)をある程度記述できます。 2. (A-G1)(D-G1)波動に関する例題、問などの基本的な問題を解くことができます。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA、D の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験返却時に、模範解答を開示し、学生の試験開示を個々に行う。 課題については、授業中の課題は授業時間内に解答する。 GoogleClassroom による課題については、GoogleClassroom にて行う。 ■教科書 「チャート式　新物理　物理基礎・物理」数研出版 ■問題集 「リードα　基礎物理・物理　4 訂版」 数研出版 ■関連科目 物理物理 2a・2b・3b, 応用物理 a・b ■成績評価方法および基準　種類:定期試験(　回), 方式: 種類: 定期試験(2 回), 方式: 記述式　ならびに　課題 定期考査成績:定期試験 80%　課題 20%で評価します。 最終成績: 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 各講義で指示された課題に取り組むこと 10月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 本館 2 階教務部 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス GoogleClassroom 内に記載 ■オフィスアワー GoogleClassroom 内にて対応

科目名: 物理 3b 英文名: Physics 3b			
担当者: 畑山伸訓　山嵜敬太		開講年度: 2021年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 1.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授　業　概　要
「授業タイトル」 第 1週 「答案返却・解答, 静電気力, 電荷, 静電誘導, クーロンの法則」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 2週 「電界, 電気力線, ガウスの定理, 電位差, 等電位面 電界中の導体」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 3週 「コンデンサー, 電気容量, コンデンサーの接続 静電エネルギー, 誘電体」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 4週 「電流, オームの法則, 抵抗の接続」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 5週 「電池の起電力と内部抵抗, キルヒホッフの法則」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 6週 「ジュール熱, 電力量と電力」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 7週 「磁極の間に働く力, 磁場」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 8週 「電流による磁場, 電流が磁場から受ける力」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 9週 「磁化の強さと磁気モーメント, 電磁誘導」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第10週 「答案返却・解答, 交流, 電磁波」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第11週 「電子の電荷と質量」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第12週 「粒子性と波動性」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第13週 「原子の構造, 原子核」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第14週 「放射能, 核エネルギー」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第15週 「素粒子」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分)) (試験時間 50 分)	■授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、自然界に現れるさまざまな現象(波動・光・電磁気など)の法則性や考え方を学びます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(D-G1)電磁気、原子、原子核等に関する様々な法則(公式)をある程度記述できます。 2. (A-G1)(D-G1)電磁気、原子、原子核等に関する例題、問などの基本的な問題を解くことができます。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA、D の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験返却時に、模範解答を開示し、学生の試験開示を個々に行う。 課題については、授業中の課題は授業時間内に解答する。 GoogleClassroom による課題については、GoogleClassroom にて行う。 ■教科書 「チャート式　新物理　物理基礎・物理」数研出版 ■問題集 「リードα　基礎物理・物理　4 訂版」 数研出版 ■関連科目 物理物理 2a・2b・3b, 応用物理 a・b ■成績評価方法および基準　種類:定期試験(　回), 方式: 種類: 定期試験(2 回), 方式: 記述式　ならびに　課題 定期考査成績:定期試験 80%　課題 20%で評価します。 最終成績: 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 各講義で指示された課題に取り組むこと 2 月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 本館 2 階教務部 ■授業評価アンケート実施方法 2 月に授業アンケートを実施します。 ■メールアドレス GoogleClassroom 内に記載 ■オフィスアワー GoogleClassroom 内にて対応

科目名: 物理 3a(特進) 英文名: Physics 3a			
担当者: 畑山 伸訓		開講年度: 2021年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全(特進)
科目種別: 必修	単位数: 1.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 「ガイダンス、単位系、次元」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 2週 「物理のための数学の準備(微分・積分、ベクトル)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 3週 「変位、速度と加速度」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 4週 「質点の力学(運動の法則)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 5週 「質点の力学(様々な力と運動方程式の解法 1)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 6週 「質点の力学(様々な力と運動方程式の解法 2)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 7週 「質点の力学(力積と運動量)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 8週 「「質点の力学(運動量保存の法則)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 9週 「答案返却・解答 質点の力学(仕事、運動エネルギー)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第10週 「質点の力学(位置エネルギーと保存力、保存則)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第11週 「質点系の力学(重心座標・2 体問題)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第12週 「質点系の力学(全運動量と運動量保存則)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第13週 「質点系の力学(力のモーメント、角運動量)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第14週 「質点系の力学(回転の運動方程式)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第15週 「質点系の力学(角運動量保存則)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 定期試験 (試験時間 50 分)	■授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、近代科学に対応する基礎学力の向上のため、現在の工学の基礎を重点的に学習します。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(D-G1)主に質点・質点系の力学に関する物理法則の意味をある程度説明する。 2. (A-G1)(D-G1)微積分、微分方程式を用いた簡潔な質点・質点系の運動を解くことが出来る。 3. (A-G1)(D-G1)主に質点・質点系の運動に対する教科書の章末練習問題程度の問題を解きます。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA、D の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験返却時に、模範解答を開示し、学生の試験開示を個々に行う。 課題については、授業中の課題は授業時間内に解答する。 GoogleClassroom による課題については、GoogleClassroom にて行う。 ■教科書 「高専の応用物理 第 2 版」 小暮陽三監修 森北出版 ■参考文献 「チャート式 新物理 物理基礎・物理」数研出版 ■関連科目 物理 2a・2b・3a・3b, 応用物理 b ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(回), 方式: 種類: 定期試験(2 回), 方式: 記述式 ならびに 課題 定期考査成績:定期試験 80% 課題 20%で評価します。 最終成績: 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 各講義で指示された課題に取り組むこと 10月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 本館 2 階教務部 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス GoogleClassroom 内に記載 ■オフィスアワー GoogleClassroom 内にて対応

科目名: 物理 3b(特進) 英文名: Physics 3b			
担当者: 畑山 伸訓		開講年度: 2021年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全(特進)
科目種別: 必修	単位数: 1.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 「答案返却・解答 剛体の力学(慣性モーメント)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 2週 「剛体の力学(固定軸周りの回転の運動方程式)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 3週 「剛体の力学(回転の運動エネルギー)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 4週 「剛体の力学(固定軸を持つ剛体の運動 1)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 5週 「剛体の力学(固定軸を持つ剛体の運動 2)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 6週 「振動(調和振動 1)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 7週 「振動(調和振動 2)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 8週 「振動(振動のエネルギー)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第 9週 「振動(減衰振動)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第10週 「答案返却・解答 振動(強制振動と共振)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第11週 「波動(波動方程式)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第12週 「静電場(クーロン力、電場)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第13週 「静電場(電位、ガウスの法則)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第14週 「静磁場(磁気力、磁場、ビオサバールの法則) [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 第15週 「静磁場(アンペールの法則)」 [予習内容]:単元の教科書を読む(30 分) [復習内容]:問題演習(30 分) 定期試験 (試験時間 50 分)	■授業概要・方法等 技術者をめざす高専の学生を対象に、近代科学に対応する基礎学力の向上のため、現在の工学の基礎を重点的に学習します。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(D-G1)主に剛体・振動の力学に関する物理法則の意味をある程度説明します。 2. (A-G1)(D-G1)主に剛体・振動の運動の簡潔な問題を解くことが出来る。 3. (A-G1)(D-G1)主に剛体・振動の運動に対する教科書の章末練習問題程度の問題を解きます。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA、D の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験返却時に、模範解答を開示し、学生の試験開示を個々に行う。 課題については、授業中の課題は授業時間内に解答する。 GoogleClassroom による課題については、GoogleClassroom にて行う。 ■教科書 「高専の応用物理 第 2 版」 小暮陽三監修 森北出版 ■参考文献 「チャート式 新物理 物理基礎・物理」数研出版 ■関連科目 物理 2a・2b・3a・3b, 応用物理 b ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(回), 方式: 種類: 定期試験(2 回), 方式: 記述式 ならびに 課題 定期考査成績:定期試験 80% 課題 20%で評価します。 最終成績: 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 各講義で指示された課題に取り組むこと 2 月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 本館 2 階教務部 ■授業評価アンケート実施方法 2 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス GoogleClassroom 内に記載 ■オフィスアワー GoogleClassroom 内にて対応

科目名: 倫理 a 英文名: Ethics a a			
担当者: 松岡 真道		開講年度: 2021年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
授業タイトル 第 1週 倫理と道徳 [予習内容]:倫理と道徳について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 2週 よく生きることを求めて [予習内容]:よく生きることを求めてについて事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 3週 青年期の課題 [予習内容]:青年期の課題について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 4週 自己の探究 [予習内容]:自己の探究について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 5週 現代の青年期 [予習内容]:現代の青年期について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 6週 ギリシャの思想(1) [予習内容]:ギリシャの思想について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 7週 ギリシャの思想(2) [予習内容]:ギリシャの思想について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 8週 キリスト教 [予習内容]:キリスト教について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 9週 イスラーム [予習内容]:イスラームについて事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第10週 仏教 [予習内容]:仏教について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第11週 日本の風土と伝統 [予習内容]:日本の風土と伝統について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第12週 外来思想の受容 [予習内容]:外来思想の受容について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第13週 町人意識のめざめと庶民思想 [予習内容]:町人意識のめざめと庶民思想について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第14週 西洋思想との出会い(1) [予習内容]:西洋思想との出会いについて事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第15週 西洋思想との出会い(2) [予習内容]:西洋思想との出会いについて事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 定期試験 第 10 から 15 週までの講義内容について筆記試験を行う。	■授業概要・方法等 自己や現代の倫理的課題を主体的に追求し、人間としてのあり方・生き方についての理解と思索を深め、生きる主体としての豊かな自己形成をはかることができるようになるため、先人の知恵を学びます。また、倫理観の欠如が叫ばれる現代社会において、人間の本質とは何かを考えていきます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者はこの授業を履修することによって、 1. (C-G2)人間尊重の精神に基づいて、青年期における人間形成と人間としてのあり方について理解します。 2. (C-G2)人間尊重の精神に基づいて、青年期における人間形成と人間としての生き方について思索をします。 3. (C-G2)社会と自分自身のつながりがどのようなものかを理解します。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーC の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。 ■教科書 『高等学校－倫理－』(第一学習者出版) ■参考文献 特になし ■関連科目 日本史・世界史・政治・経済・地理 ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2 回), 方式: 記述式 定期考査成績:定期考査(100%)、プリント・レポート・ノートは提出必須 最終成績:2 回の定期考査成績の平均点とする。 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 授業で省略した部分と課題プリントを教科書・参考書で調べ, 自宅学習して下さい。 10 月に学修時間に関する調査を実施します。 ■教員所在場所 本館 1 階 学生部 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス s-matsuoka@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日 9 限と木曜日 8 限

科目名: 倫理 b 英文名: Ethics a a			
担当者: 松岡 真道		開講年度: 2021年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
授業タイトル 第 1週 人間の尊厳 [予習内容]:人間の尊厳について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 2週 近代科学革命と自然観 [予習内容]:近代科学革命と自然観について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 3週 自由で平等な社会の実現(1) [予習内容]:自由で平等な社会の実現について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 4週 自由で平等な社会の実現(2) [予習内容]:自由で平等な社会の実現について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 5週 人間性の回復と主体性の確立 [予習内容]:人間性の回復と主体性の確立について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 6週 現代の思想と人間像(1) [予習内容]:現代の思想と人間像について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 7週 現代の思想と人間像(2) [予習内容]:現代の思想と人間像について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 8週 生命への畏敬と社会参加 [予習内容]:生命への畏敬と社会参加について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第 9週 生命の問題と倫理課題 [予習内容]:生命の問題と倫理課題について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第10週 環境の問題と倫理課題 [予習内容]:環境の問題と倫理課題について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第11週 家族・地域社会と倫理課題 [予習内容]:家族・地域社会と倫理課題について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第12週 情報化社会と倫理課題 [予習内容]:情報化社会と倫理課題について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第13週 宗教・文化と倫理課題 [予習内容]:宗教・文化と倫理課題について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第14週 国際平和と人類の福祉 [予習内容]:国際平和と人類の福祉について事前学習する(60分) [復習内容]:授業内容を復習して理解する(30分) 第15週 後期授業まとめ 定期試験 第 10 から 15 週までの講義内容について筆記試験を行う	■授業概要・方法等 自己や現代の倫理的課題を主体的に追求し、人間としてのあり方・生き方についての理解と思索を深め、生きる主体としての豊かな自己形成をはかることができるようになるため、先人の知恵を学びます。また、倫理観の欠如が叫ばれる現代社会において、人間の本質とは何かを考えていきます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者はこの授業を履修することによって、 1. (C-G2)人間尊重の精神に基づいて、青年期における人間形成と人間としてのあり方について理解します。 2. (C-G2)人間尊重の精神に基づいて、青年期における人間形成と人間としての生き方について思索をします。 3. (C-G2)社会と自分自身のつながりがどのようなものかを理解します。ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーC の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。 ■教科書 『高等学校－倫理－』(第一学習者出版) ■参考文献 特になし ■関連科目 日本史・世界史・政治・経済・地理 ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験(2 回), 方式: 記述式 定期考査成績:定期考査(100%)、プリント・レポート・ノートは提出必須 最終成績:2 回の定期考査成績の平均点とする。 90 点以上 「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満 「優」GP「3」、 70 点以上～80 点未満 「良」GP「2」、 60 点以上～70 点未満 「可」GP「1」、 60 点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 授業で省略した部分と課題プリントを教科書・参考書で調べ, 自宅学習して下さい。 2 月に学修時間に関する調査を実施します。 ■教員所在場所 本館 1 階 学生部 ■授業評価アンケート実施方法 2 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス s-matsuoka@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日 9 限と木曜日 8 限

科目名: 保健体育 3a 英文名: Health and Physical EducationⅢa			
担当者: 田内翔太 池田龍佐人		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 1	授業形態: 実技	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 「 シラバス配布・レクリエーション 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 2週 「 ストレッチ体操の基本と体つくり運動 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 3週 「 保健・体育理論 Ⅰ－1 スポーツ障害 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 4週 「保健・体育理論 Ⅰ－2 スポーツトレーニングについて」 [予習内容]: [復習内容]: 第 5週 「 球技・基本技術の向上(球技) 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 6週 「 球技・戦術的能力の向上(球技) 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 7週 「保健・体育理論 Ⅱ－1 文化としてのスポーツについて」 [予習内容]: [復習内容]: 第 8週 「 球技・基本技術の向上(球技) 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 9週 「 球技・戦術的能力の向上(球技) 」 [予習内容]: [復習内容]: 第10週 「 球技・基本技術の向上(球技) 」 [予習内容]: [復習内容]: 第11週 「 球技・戦術的能力の向上(球技) 」 [予習内容]: [復習内容]: 第12週 「 新体力テスト 」 [予習内容]: [復習内容]: 第13週 「 新体力テスト 」 [予習内容]: [復習内容]: 第14週 「 新体力テスト 」 [予習内容]: [復習内容]: 第15週 「 新体力テスト 」 [予習内容]: [復習内容]: 定期試験	■授業概要・方法等 少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理する為の基本知識を養う事を目標とします。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することにより、 1. (D-G2)(D-2) 集団行動を通じて協調性を養う。 2. (D-G2)(D-2) 多種多様なスポーツの基本的ルールを学び、参加する楽しさを覚えることができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーD の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解説します。 ■教科書 「保健体育概論(増補版)」近畿地区高等専門学校体育研究会編 「最新スポーツルール」大修館 ■参考文献 特にありません。 ■関連科目 保健・健康科学 ■成績評価方法および基準 定期試験(1 回) 方式: 記述式 体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方から評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性及び課題評価(40%)と定期考査(20%)によって 総合的に評価します。 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 10 月に学修時間に関する調査を実施します ■教員所在場所 本館1階学生部 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス tauchi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 金曜日(15:00～16:00)

科目名: 保健体育 3b 英文名: Health and Physical EducationⅢb			
担当者: 田内翔太 池田龍佐人		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 該当なし		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 1	授業形態: 実技	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 「 答案返却・解答 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 2週 「 球技・レクリエーションスポーツ 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 3週 「 球技・レクリエーションスポーツ 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 4週 「 球技・レクリエーションスポーツ 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 5週 「 陸上競技・マラソン 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 6週 「 陸上競技・マラソン 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 7週 「 陸上競技・マラソン 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 8週 「 陸上競技・マラソン 」 [予習内容]: [復習内容]: 第 9週 「 陸上競技・マラソン 」 [予習内容]: [復習内容]: 第10週 「 球技・レクリエーションスポーツ 」 [予習内容]: [復習内容]: 第11週 「 球技・レクリエーションスポーツ 」 [予習内容]: [復習内容]: 第12週 「 新体力テスト 」 [予習内容]: [復習内容]: 第13週 「 新体力テスト 」 [予習内容]: [復習内容]: 第14週 「 新体力テスト 」 [予習内容]: [復習内容]: 第15週 「 新体力テスト 」 [予習内容]: 定期試験 授業内容についての筆記試験を行う。	■授業概要・方法等 少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理する為の基本知識を養う事を目標とします。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することにより、 1. (D-G2)(D-2) 集団行動を通じて協調性を養う。 2. (D-G2)(D-2) 多種多様なスポーツの基本的ルールを学び、参加する楽しさを覚えることができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーD の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解説します。 ■教科書 「保健体育概論(増補版)」近畿地区高等専門学校体育研究会編 「最新スポーツルール」大修館 ■参考文献 特にありません。 ■関連科目 保健・健康科学 ■成績評価方法および基準 定期試験(1 回) 方式: 記述式 体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方から評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性及び課題評価(40%)と定期考査(20%)によって 総合的に評価します。 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められた場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 2 月に学修時間に関する調査を実施します。 ■教員所在場所 本館1階学生部 ■授業評価アンケート実施方法 2 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス tauchi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 金曜日(15:00～16:00)

科目名: 中国語　初級 a 英文名: Chinese (beginner‘s class)a			
担当者: 小林　千津(王樹岩)		開講年度: 2021年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授　業　概　要
「授業タイトル」 第 1週　ガイダンス(中国語の概要及び授業の進め方) 予習内容:中国語の文字、文法の特徴について調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 2週　発音編(音節の成り立ち、母音1) 予習内容:中国語音節の成り立ち、声調、基本になる母音について調べること。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 3週　発音編(子音、母音2) 予習内容:子音、複合母音について調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 4週　発音編(母音3) 予習内容:鼻音を伴う母音, 軽声、発音のr化について調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 5週　発音編(声調の変化、音節のつづり方1) 予習内容:第3声の変化、音節のつづり方について調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 6週　発音編(音節のつづり方 2) 予習内容:音節のつづり方、声調符号の位置について調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 7週　発音編(発音の総合練習) 予習内容: 有気音と無気音の違い、単語や挨拶語の読み方について調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 8週　第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 9週　第1課　人称代名詞、挨拶語、名字の聞き方 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第10週　第2課　感謝、お詫びの表現、別れの挨拶 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第11週　第3課　名前の聞き方、常用名字と名前 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第12週　第1課～第3課の復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題 1～3をまとめること(60分) 第13週　第4課　名詞述語文、“不”の声調変化、“也”の使い方 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題4をまとめること(60分) 第14週　第5課　反復疑問文、副詞“都” 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題5をまとめること(60分) 第15週　総復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分)	■授業概要・方法等 授業概要: この授業は初めて中国語を勉強するものを対象とし、中国語の発音から基本文型と初歩的な会話を学びます。授業は前半において発音・声調を集中的に習い、後半は挨拶語や名詞述語文を中心に基礎文法を修得しつつ、初歩的な会話練習を繰り返すことによって、発音・声調と基礎文型の習熟度を高めていきます。 授業方法: ①日本語ローマ字と比べながらピンインを教えます。 ②各課の文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって 1. (E-G2) (E-2) 中国語発音記号(ピンイン)を読む、書く、聞く、話す 2. (E-G2) (E-2) 字引きを利用する 3. (E-G2) (E-2) 中国語で挨拶する 4. (E-G2) (E-2) 簡単な自己紹介をする ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。 ■教科書 鈴木律子著〔標準高校中国語〕白帝社　ISBN978-4-86398-243-7 ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(100%) 定期試験は中間と期末の2回。点数比率は記述式70%、リスニング 30% 最終成績　:中間と期末の定期考査成績の平均点で算出します。 90 点以上 「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満 「優」GP「3」、 70 点以上～80 点未満 「良」GP「2」、 60 点以上～70 点未満 「可」GP「1」、 60 点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。 10月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 図書館1階　職員室 ■授業評価アンケート実施方法 10月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 随時

科目名: 中国語　初級ｂ 英文名: Chinese (beginner‘s class)b			
担当者: 小林　千津(王樹岩)		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授　業　概　要
「授業タイトル」 第 1週　第6課　指示代詞、疑問詞“什么”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 2週　第6課　指示代詞、疑問詞“什么”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題6をまとめること(60分) 第 3週　第7課　所属・所有、指示代詞(複数)、疑問詞“谁”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 4週　第7課　所属・所有、指示代詞(複数)、疑問詞“谁”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題7をまとめること(60分) 第 5週　第6課～第7課の復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第 6週　第8課　動詞述語文、“呢”を用いた疑問文(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 7週　第8課　動詞述語文、“呢”を用いた疑問文(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題8をまとめること(60分) 第 8週　第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 9週　第9課　形容詞述語文、反復疑問文2(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第10週　第9課　形容詞述語文、反復疑問文2(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題9をまとめること(60分) 第11週　第10課　所有を表す“有”、10までの数字、お金の単位(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第12週　第10課　所有を表す“有”、10までの数字、お金の単位(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題10をまとめること(60分) 第13週　第11課　動詞“在”、“一”の声調変化(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第14週　第11課　動詞“在”、“一”の声調変化(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題11をまとめること(60分) 第15週　総復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項、本文を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分)	■授業概要・方法等 授業概要: 前期に引き続き、述語文を一通り学び、指示代詞、疑問詞、所属・所有、数字などの使い方について学習します。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教えます。 ②各課の文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。 ■使用言語　日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1.(E-G2)(E-2) 新出単語を書く 2.(E-G2)(E-2) 各課の文法事項を把握する 3.(E-G2)(E-2) 各課の本文を読む、書く、話す、聞く 4.(E-G2)(E-2) 学習した単語や文型を利用して、簡単な文を書くことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。 ■教科書 鈴木律子著〔標準高校中国語〕 白帝社 ISBN978-4-86398-243-7 ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(80%)　提出課題(20%) 定期試験は中間と期末の2回。点数比率は記述式 80%、リスニング 20% 最終成績 :中間と期末の定期考査成績の平均点で算出します。 90 点以上 「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満 「優」GP「3」、 70 点以上～80 点未満 「良」GP「2」、 60 点以上～70 点未満 「可」GP「1」、 60 点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。 2月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 図書館1階　職員室 ■授業評価アンケート実施方法 2月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 随時

科目名: 中国語　中級 a 英文名: Chinese (intermediate class)a			
担当者: 小林千津(王樹岩)		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授　業　概　要
「授業タイトル」 第 1週 第12課 助数詞、曜日(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 2週 第12課 助数詞、曜日(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題12をまとめること(60分) 第 3週 第13課 疑問代詞、動詞の重ね方、10以上の数字(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 4週 第13課 疑問代詞、動詞の重ね方、10以上の数字(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題13をまとめること(60分) 第 5週 第12課～第13課の復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第 6週 第14課 時間、状態の変化“了”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 7週 第14課 時間、状態の変化“了”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題14をまとめること(60分) 第 8週 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第 9週 第15課 月日・曜日の表し方、“太”の使い方(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第10週 第15課 月日・曜日の表し方、“太”の使い方(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題15をまとめること(60分) 第11週 第16課 時を表す文、一日の行動 (一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第12週 第16課 時を表す文、一日の行動 (二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題16をまとめること(60分) 第13週 第17課 時間を表す語2、“喜欢”の使い方(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第14週 第17課 時間を表す語2、“喜欢”の使い方(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題17をまとめること(60分) 第15週 総復習 予習内容:第9週から第14週で学習した内容を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分)	■授業概要・方法等 授業概要: 「中国語初級」で習得した発音を定着させつつ、基礎文法、基礎語彙、基礎会話を習得します。それにより中国語コミュニケーション基礎表現力の向上を図ります。 前期において、場所、時間、月日、曜日の表し方や疑問代詞、助数詞、動詞の重ね型などについて学習します。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教えます。 ②単語、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2) (E-2) 新出単語を書く 2. (E-G2) (E-2) 各課の文法事項を把握する 3. (E-G2) (E-2) 各課の本文を読む、書く、話す、聞く 4. (E-G2) (E-2) 学習した単語や文型を利用して、文を書く ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。 ■教科書 鈴木律子〔標準高校中国語〕白帝社 ISBN978-4-86398-243-7 ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(80%) 提出課題(20%) 定期試験は中間と期末の2回。点数比率は記述式 80%、リスニング 20% 最終成績 :中間と期末の定期考査成績の平均点で算出します。 90 点以上 「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満 「優」GP「3」、 70 点以上～80 点未満 「良」GP「2」、 60 点以上～70 点未満 「可」GP「1」、 60 点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。 10月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 職員室 ■授業評価アンケート実施方法 10月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 随時

科目名: 中国語　中級 b 英文名: Chinese (intermediate class)b			
担当者: 小林　千津(王樹岩)		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週　第18課　完了の表現、“怎么”、前置詞“给”(一)
予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)
復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)

第 2週　第18課　完了の表現、“怎么”、前置詞“给”(二)
予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)
復習内容:グーグルクラスルームの課題18をまとめること(60分)

第 3週　第19課　連動文、過去の経験、伝聞を表す“听说”(一)
予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)
復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)

第 4週　第19課　連動文、過去の経験、伝聞を表す“听说”(二)
予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)
復習内容:グーグルクラスルームの課題19をまとめること(60分)

第 5週　第18課～第19課の復習
予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分)
復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分)

第 6週　第20課 “可以”、“想”、中国の外来語(一)
予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)
復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)

第 7週　第20課 “可以”、“想”、中国の外来語(二)
予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)
復習内容:グーグルクラスルームの課題20をまとめること(60分)

第 8週　第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説
予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分)
復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)

第 9週　第21課 “会”、“能”(一)
予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)
復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)

第10週　第21課 “会”、“能”(二)
予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)
復習内容:グーグルクラスルームの課題21をまとめること(60分)

第11週　第21課の復習
予習内容:第21課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分)
復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分)

第12週　第22課　助動詞“要”、前置詞“跟”、“在” (一)
予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)
復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)

第13週　第22課　助動詞“要”、前置詞“跟”、“在”(二)
予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)
復習内容:グーグルクラスルームの課題22をまとめること(60分)

第14週　第22課の復習
予習内容:第22課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分)
復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分)

第15週　総復習
予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項、本文を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分)
復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分)
定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分)

授　業　概　要

■授業概要・方法等
授業概要:
前期に引き続き、完了や経験などを表す文、連動文、伝聞の表現、助動詞や前置詞などについて学習します。
授業方法:
①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教えます。
②各課の基本文型や文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。
③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。

■使用言語
日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (E-G2) (E-2) 新出単語を書く
2. (E-G2) (E-2) 各課の文法事項を把握する
3. (E-G2) (E-2) 各課の本文を読む、書く、話す、聞く
4. (E-G2) (E-2) 学習した単語や文型を利用して、文を書く
ことができるようになります。
この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。

■教科書
鈴木律子〔標準高校中国語〕白帝社　ISBN978-4-86398-243-7

■参考文献
その他の教材。

■関連科目
特にありません。

■成績評価方法および基準
定期考査成績:定期試験(80%)　提出課題(20%)
定期試験は中間と期末の2回、点数比率は記述式 80%、リスニング 20%
最終成績　:中間と期末の定期考査成績の平均点で算出します。
90 点以上 「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満 「優」GP「3」、 70 点以上～80 点未満 「良」GP「2」、 60 点以上～70 点未満 「可」GP「1」、 60 点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。
2月に「学修時間に関する調査」を実施します。

■教員所在場所
図書館1階　職員室

■授業評価アンケート実施方法
2月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
kobayashi@ktc.ac.jp

■オフィスアワー
随時

科目名: 中国語　上級 a 英文名: Chinese （ upper class)a			
担当者: 小林　千津(王樹岩)		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授　業　概　要
「授業タイトル」 第 1週　第23課　持続の表現、動作の回数“次”、方位詞(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 2週　第23課　持続の表現、動作の回数“次”、方位詞(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。 (30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題23をまとめること(60分) 第 3週　第24課　進行を表す“在”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 4週　第24課　進行を表す“在”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題24をまとめること(60分) 第 5週　第23課～第24課の復習 予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第 6週　第25課　主述述語文、助動詞“要”(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 7週　第25課　主述述語文、助動詞“要”(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題25をまとめること(60分) 第 8週　第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説 予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第 9週　第26課　前置詞“离”、副詞“就”の使い方(一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第10週　第26課　前置詞“离”、副詞“就”の使い方(二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題26をまとめること(60分) 第11週　第26課の復習 予習内容:第26課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第12週　第27課　程度補語、選択疑問文 (一) 予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分) 復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分) 第13週　第27課　程度補語、選択疑問文 (二) 予習内容:本文を翻訳しておく。(30分) 復習内容:グーグルクラスルームの課題27をまとめること(60分) 第14週　第27課の復習 予習内容:第27課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 第15週　総復習 予習内容:第9週から第14週で学習した発音や単語、文法事項、本文を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分) 復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分) 定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分)	■授業概要・方法等 授業概要: 「中国語初級」、「中国語中級」で習得した発音、基礎文法、基礎語彙を定着させつつ、更なる文法事項や語彙、会話表現を習得します。 前期において、持続、進行を表す文や主述述語文、選択疑問文、方位詞、程度補語、前置詞“离”、副詞“就”などの使い方について学習します。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教えます。 ②各課の基本文型や文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2) (E-2) 新出単語を書く 2. (E-G2) (E-2) 各課の文法事項を把握する 3. (E-G2) (E-2) 各課の本文を読む、書く、話す、聞く 4. (E-G2) (E-2) 学習した単語や文型を利用して文を書く ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。 ■教科書 鈴木律子〔標準高校中国語〕白帝社　ISBN978-4-86398-243-7 ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 定期考査成績:定期試験(80%)　提出課題(20%) 定期試験は中間と期末の2回。点数比率は記述式 80%、リスニング 20% 最終成績 :中間と期末の定期考査成績の平均点で算出します。 90 点以上 「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満 「優」GP「3」、 70 点以上～80 点未満 「良」GP「2」、 60 点以上～70 点未満 「可」GP「1」、 60 点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。 10 月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 図書館1階　職員室 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 随時

科目名: 中国語　上級ｂ 英文名: Chinese （ upper class)b			
担当者: 小林　千津(王樹岩)		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 中国出身、公立高校で非常勤講師として勤務。商社で通訳、翻訳としての勤務経験もあり。		アクティブ・ラーニングの形態:該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング:該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週　第28課 “是･･･的”の文、二重目的語の文(一)
予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)
復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)

第 2週　第28課 “是･･･的”の文、二重目的語の文(二)
予習内容:本文を翻訳しておく。 (30分)
復習内容:グーグルクラスルームの課題28をまとめること(60分)

第 3週　第29課　比較の文(一)
予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)
復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)

第 4週　第29課　比較の文(二)
予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)
復習内容:グーグルクラスルームの課題29をまとめること(60分)

第 5週　 第28課～第29課の復習
予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分)
復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分)

第 6週　第30課　結果補語、前置詞“从”(一)
予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)
復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)

第 7週　第30課　結果補語、前置詞“从”(二)
予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)
復習内容:グーグルクラスルームの課題30をまとめること(60分)

第 8週　 第1週～第7週で学習したことについて総復習。中間テスト・答案返却・解答解説
予習内容:第1週から第7週で習ったことについて調べること(30分)
復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)

第 9週　 第31課　方向補語、自然現象の表し方(一)
予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)
復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)

第10週　 第31課　方向補語、自然現象の表し方(二)
予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)
復習内容:グーグルクラスルームの課題31をまとめること(60分)

第11週　第31課の復習
予習内容:第31課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分)
復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分)

第12週　第32課 “打算”、“祝”の使い方 (一)
予習内容:単語や文法事項に目を通し、問題点を押さえておく。(30分)
復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)

第13週　第32課 “打算”、“祝”の使い方 (二)
予習内容:本文を翻訳しておく。(30分)
復習内容:授業内容を読み返し、理解を深める。(60分)

第14週　第32課の復習
予習内容:第32課で学習した発音や単語、文法事項を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分)
復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分)

第15週　　総復習
予習内容:これまで学習した発音や単語、文法事項、本文を復習し、苦手・不明な内容を把握しておく。(30分)
復習内容:復習した内容を改めて読み返し、苦手・不明な内容を理解したか確認する。(60分)
定期試験:第1回から15回までの講義内容について筆記試験を行う。(試験時間50分)

授　業　概　要

■授業概要・方法等
授業概要:
後期において、過去の事実、2つ目的語をとる動詞、比較、結果補語、形容詞などについて学習します。
授業方法:
①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現を教えます。
②各課の基本文型や文法事項を教え、本文の反復音読やロールプレイでの練習をさせます。
③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげます。

■使用言語
日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (E-G2) (E-2) 新出単語を書く
2. (E-G2) (E-2) 各課の文法事項を把握する
3. (E-G2) (E-2) 各課の本文を読む、書く、話す、聞く
4. (E-G2) (E-2) 学習した単語や文型を利用して、文を書く
ことができるようになります。
この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
試験終了後に、模範解答と学生の試験返却を行い、解説と共通弱点の補強練習をする。課題については、授業中の課題は授業時間内で解答する。

■教科書
鈴木律子〔標準高校中国語〕白帝社　ISBN978-4-86398-243-7

■参考文献
その他の教材。

■関連科目
特にありません。

■成績評価方法および基準
定期考査成績:定期試験(80%)　提出課題(20%)
定期試験は中間と期末の2回、点数比率は記述式 80%、リスニング 20%
最終成績　:中間と期末の定期考査成績の平均点で算出します。
90 点以上 「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満 「優」GP「3」、 70 点以上～80 点未満 「良」GP「2」、 60 点以上～70 点未満 「可」GP「1」、 60 点未満 「不可」GP「0」 と評定します。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
予習及び復習は期限までにグーグルクラスルームへ提出すること。
2月に「学修時間に関する調査」を実施します。

■教員所在場所
図書館1階　職員室

■授業評価アンケート実施方法
2月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
kobayashi@ktc.ac.jp

■オフィスアワー
随時

科目名: 韓国語　Ⅰa 英文名: Korean Language　Ⅰa			
担当者: 李　辰淑		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 市立小学校国際理解特別非常勤講師 県立高校非常勤講師		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 選定	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週　1課: 韓国の紹介ハングル文字のしくみ 、
[予習内容]:ハングル文字の仕組みを事前に調べる 。(30 分)
[復習内容]:授業内容を復習し、発音、文字を覚える。(60 分)

第 2週　1課 文字と発音(1) 単母音、初声、その1(鼻音・流音)
[予習内容]:WEB 学習で文字と発音が一致するよう学習(30 分)
[復習内容]:発音と書き練習、文字を覚える。(60 分)

第 3週　1課 応用と復習　終声・その1
[予習内容]:WEB 学習で文字と発音が一致するよう学習(30 分)
[復習内容]:文字の読み書きをしっかり覚える。(60 分)

第 4週　1課 応用と復習　2課文字と発音(2)初声。その 2(平音)
発音の規則・有声音化」
[予習内容]:WEB 学習で文字と発音の学習(30 分)
[復習内容]:文を発音し書いて練習する。(60 分)

第 5週: 2課 半母音＋単母音、二重母音、発音の規則連音化
[予習内容]:WEB 学習で文字の読み書きの練習(30分)
[復習内容]:発音通りに文字を書いて声出して読む。(60 分)

第 6週 2課 応用と復習 3課 文字と発音(3)初声・その3激音
初声 4 (濃音)」
[予習内容]:WEB 学習で文字と発音の学習(30 分)
[復習内容]:発音の仕組みを理解する。発音の練習(60 分)

第 7週 3課 終声その2、 発音の規則:濃音化
[予習内容]:WEB 学習で文字の読み書きの練習(30 分)
[復習内容]:発音の規則を理解する。発音の練習(60 分)

第 8週「答案返却と解答」
終声2、濃音化の復習
[予習内容]:WEB 学習で文字と発音の学習(30 分)
[復習内容]:発音の規則を理解する。発音の練習(60 分)

第 9週 4課 韓国人です。鼻音化 。～は、～と申します
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:助詞の使い分け、発音の規則、鼻音化理解(60 分)

第10週 4課 助詞、ハムニダ体の丁寧表現 ～です(ハムニダ体)
[予習内容]:WEB 学習で文字と発音の練習(30 分)
[復習内容]:助詞の使い分け、丁寧表現の仕組みを理解する。
(60 分)

第11週 5課 韓国語は専攻ではありません。～が、～です(ヘヨ体)、
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:発音の規則激音化、助詞の使い分けの理解(60 分)

第12週 5課 ヘヨ体の丁寧表現、否定文～ではありません
「予習内容]:WEB、音声で文字と発音の練習をする。(30 分)
[復習内容]:丁寧表現、否定文の仕方を理解する。(60 分)

第13週 6課: 講義室は階段の横にあります。バッチム、漢数詞
[予習内容]:WEB、音声で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:二つの字母のバチムの発音の仕組みと漢数詞を理解する。(60 分)

第14週 6課 存在の有無をあらわす表現
[予習内容]:WEB、音声で日本と違う表現を理解する。(30 分)
[復習内容]:練習問題を通して日本と違う存在の表現になれるようにする。(60 分)

第15週 4課～6課までの応用と復習
[予習内容] 4課～6課までの内容をWEB 学習と音声を通して聞き取りが出来るようにする。(30 分)
[復習内容]:授業内容を基に聞き取り、読み書きが出来、
自己表現出来るようにする(60 分)

定期試験:
第1週から15週まで授業内容について筆記とリスニング試験
(中間考査)(期末考査) (試験時間 50 分)

授　業　概　要

■授業概要・方法等
テキストを中心に正確な発音の仕方、書き、聞き取りを始め、初級で学んだ基礎を基に復習を重ねしっかり活用出来る事を目標にして日常会話、自己表現が出来るよう力を付けます。

■使用言語
日本語、韓国語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (E-G2)韓国語を確実に学んで聞き取りや簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、 語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。
2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解する事は出来ないと思います。
韓国の言葉を通して見えてくるその隣国の文化の理解を深めることが出来、これからの日韓の友好関係の維持の為若者のコミュニケーション場を広げるきっかけになる事を目標にします。この科目の履修は本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
定期試験及び課題の模範解答を提示して答え合わせます。

■教科書
(韓国語の世界へ) 入門編 ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー
朝日出版社 ISBN978-4-255-55647-5 C1087 ￥2300+税

■参考文献
Google 翻訳機、エキサイト翻訳、朝鮮語辞書 小学館、金星出版社

■関連科目
特になし

■成績評価方法および基準
種類:定期試験2回、課題提出
方式:記述式、リスニング
成績基準: 中間試験 100%
期末試験:定期試験(80%)夏季課題(20%)
最終成績:中間試験成績と期末考査成績の平均点とします。
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
「韓国の世界へ」WEB 映像・音声
http://text.asahipress.com/text-web/korean/sekainyumon/index.html
上記に記載した WEB で聞き取り、発音の予習・復習に取り組みます。
音声:MP3 レコーダを利用して教科書に記載されてない音声はグーグルクラスルームで音声の確認が出来ます。
10 月に学修時間に関する調査を実施します。

■教員所在場所
図書館館 1 階

■授業評価アンケート実施方法
10 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
sook127@asint.jp

■オフィスアワー
土曜日 Am:(8:30～12:30)

科目名: 韓国語　Ｉb 英文名: Korean Language　Ｉb			
担当者: 李　辰淑		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 市立小学校国際理解特別非常勤講師 県立高校非常勤講師		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選定	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週 「答案返却と解答」　7課午後　時間大丈夫ですか？
[予習内容]: WEB 学習で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:ヘヨ体作り 1 の基本をしっかり理解する。(60 分)

第 2週 7課 ヘヨ体Ｉ、助詞
[予習内容]:ヘヨ体1を正確に理解する。(30 分)
[復習内容]: ヘヨ体１に活用させて音声を聴いて発音し、用言の意味を理解する、助詞の使い分けを理解する。(60 分)

第 3週 8課　小学生に手今度を教えています。
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。 (30 分)
[復習内容]:指示詞、ヘヨ体2の仕組みと意味を正確に理解する。(60 分)

第 4週 8課　ヘヨ体の作り2　、助詞
[予習内容]:ヘヨ体作り2を活用する。(30 分)
[復習内容]:助詞の使い分け、ヘヨ体2の仕組み、意味を正確に理解する。(60 分)

第 5週　9課　普通　6時に起きます.
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。く(30 分)
[復習内容]:ヘヨ体作り2の仕組みを正確に理解する。(60 分)

第 6週 9課　助詞、 固有数詞
[予習内容]:WEB 学習で固有数詞を理解する。(30 分)
[復習内容]:固有数詞と助数詞を使って例文を作る。(60 分)

第 7週 10課　野球がとても好きです。
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:ヘヨ体作り4の仕組みを正確に理解する。(60 分)

第 8週「答案返却と解答」
10課　ヘヨ体作り4、～しに
[予習内容]:WEB 学習で発音と意味を理解する。(30 分)
[復習内容]:連結語尾　を使って文章を繋いでみる。(60 分)

第 9週 ヘヨ体1，2，3，4の応用
[予習内容]:ヘヨ体1，2，3，4の仕組みを正確に理解する。(30 分)
[復習内容]:授業内容をもとヘヨ体1，2，3，4、助詞、連結語尾の使い分けを正確に理解する。(60 分)

第10週 11課　お昼食べませんでした？
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:ヘヨ体1，2，3，4の過去形を活用する。(60 分)

第11週　11課　ㅡ変則用言　否定文　～しない　～くない
[予習内容]:ㅡ変則用言理解しておく。(30 分)
[復習内容]:授業内容を基にㅡ変則用言の規則、否定文を正確に理解する。(60 分)

第12週 ヘヨ体1，2，3，4の過去形、ㅡ変則用言の応用
「予習内容]:WEB、音声で聞き取りや読めるようにする。(30分)
[復習内容]:ヘヨ体1，2，3，4の過去形、ㅡ変則用言の仕組みを正確に理解し、応用力で自己表現出来るようにする。(60 分)

第13週 12課:春休みに何をするつもりですか？～でいらっしゃる
[予習内容]:WEB 学習で本文の内容を理解する。(30 分)
[復習内容]:授業内容を基に尊敬形を理解する(。60 分)

第14週 12課　～するつもりです。～するでしょう
[予習内容]:WEB、音声で聞き取りや読めるようにする。(30分)
[復習内容]:授業内容を基に推量を表す表現に変える。(60分)

第15週 ヘヨ体1，2，3，4　現在形、過去形、ㅡ変則活用の応用と総復習、
[予習内容]:WEB、音声で聞き取り、読み、文法の活用方を理解する。(30 分)
[復習内容]:今までの授業内容を基に自己表現出来るようにする。(60 分)

定期試験:第1週から15週まで授業内容について筆記とリスニング試験
(中間考査　、 期末考査)(試験時間　50 分)

授　業　概　要

■授業概要・方法等
テキストを中心に正確な発音の仕方、書き、聞き取りを始め、初級で学んだ基礎を基に復習を重ねしっかり活用出来る事を目標にして日常会話、自己表現が出来るよう力を付けます。

■使用言語
日本語、韓国語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (E-G2)韓国語を確実に学んで聞き取りや簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、 語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。
2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解する事は出来ないと思います。
韓国の言葉を通して見えてくるその隣国の文化の理解を深めることが出来、これからの日韓の友好関係の維持の為若者のコミュニケーション場を広げるきっかけになる事を目標にします。この科目の履修は本校総合システム工学科の定めるデイプロマポリシーE の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
定期試験及び課題の模範解答を提示して答え合わせます。

■教科書
(韓国語の世界へ) 入門編 ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー
朝日出版社 ISBN978-4-255-55647-5 C1087 ￥2300+税

■参考文献
Google 翻訳機、エキサイト翻訳、
朝鮮語辞書 小学館、金星出版社

■関連科目
特になし

■成績評価方法および基準
種類:定期試験 1 回、課題提出
方式:記述式、リスニング
定期試験: 中間考査100％
期末試験(80％)冬季課題(20％)
最終成績:中間試験成績と期末考査成績の平均点とします
90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
「韓国の世界へ」WEB 映像・音声
http://text.asahipress.com/text-web/korean/sekainyumon/index.html
上記に記載した WEB で聞き取り、発音の予習・復習に取り組みます。
音声:MP3 レコーダを利用して教科書に記載されてない音声はグーグルクラスルームで音声の確認が出来ます。
2 月に学修時間に関する調査を実施します。

■教員所在場所
図書館館 1 階

■授業評価アンケート実施方法
2 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
sook127@asint.jp

■オフィスアワー
土曜日 Am:(8:30～12:30)

科目名: 英語演習3a 英文名: English Seminar 3a			
担当者: 福岡 玲子		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:該当なし		アクティブ・ラーニングの形態:ペアワーク・グループワーク ICT を活用したアクティブ・ラーニング:該当あり	
工学科 :総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 Chapter 1-1 Construction of Atoms [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 2週 Chapter 1-2 5つの基本文型 [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 3週 Chapter 2-1 Mechanical Energy [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 4週 Chapter 2-2 動詞 [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 5週 Chapter 3-1 Friction [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 6週 Chapter 3-2 進行形・未来形・助動詞 [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 7週 Chapter 4-1 temperature and Molecules [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 8週 Chapter 4-2 名詞・冠詞・代名詞 [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 9週 Chapter 5-1 The Doppler Effect [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第10週 Chapter 5-2 前置詞・接続詞(Ⅰ) [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第11週 Chapter6-1 The Screw [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第12週 Chapter 6-2 形容詞・副詞と比較級 [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第13週 Chapter 7-1 Gears [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第14週 Chapter 7-2 命令文・感嘆文 [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第15週 定期試験 第1回から14回までの講義内容について筆記試験を行う(In-Class Examination、45 分間)	■授業概要・方法等 教科書に沿った授業展開をし、様々なトピックを扱った英語を、読む、書く、聞く、話す活動を通して、トピックの理解に必要な語彙や文法を習得し、読解と聞き取りの能力向上を目指します。 ■使用言語 英語、日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2)トピックの内容を把握するのに必須の語彙を習得する。 2. (E-G2)(E-2)英文の精読によって、読解力を身に着ける。 3. (E-G2)(E-2)トピックに関することを英語で表現する。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験開示を個々に行う。 ■教科書 教養課程の科学技術英語 Let's Enjoy Science & Tech English (南雲堂) 978-4-523-17913-9 ■参考文献 なし ■関連科目 英語 1、英語 2、英語 3、英語 4、英語特講、TOEIC プラス 外国文献講読 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(1 回)、方式:記述式、選択式 定期考査成績:定期試験 80%、課題小テスト 20% 最終成績:1 回の定期考査の成績とします。 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 次の授業でやる箇所を予め辞書等を用いて調べておくこと 授業で指定された、単語、熟語、表現、文法事項を覚えること 10 月に学修時間に関する調査を実施します。 ■教員所在場所 2 号館 2 階共通教育教員室 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス fukuoka@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 木曜日の 12 時 15 分～12 時 55 分

科目名: 英語演習 3b 英文名: English Seminar 3b			
担当者: 福岡 玲子		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:該当なし		アクティブ・ラーニングの形態:ペアワーク、グループワーク	
		ICT を活用したアクティブ・ラーニング:該当あり	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 0.5	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 Chapter 8-1 Tyoes of Clutches [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 2週 Chapter 8-2 不定詞 [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 3週 Chapter9-1 The Combustion Engine [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 4週 Chapter 9-2 動名詞と分詞 [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 5週 Chapter 10-1 The Thermostat [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 6週 Chapter 10-2 各種疑問文・It の特別用法 [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 7週 Chapter 11-1 Some Problems in Dam-Building [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 8週 Chapter 11-2 完了形 [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第 9週 Chapter 12-1 Concrete Construction [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第10週 Chapter 12-2 完了形 [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第11週 Chapter 13-1 A Dangerous Gas [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第12週 Chapter 13-2 接続詞Ⅱ [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第13週 Chapter 14-1 Urban Atmospheric Pollution [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第14週 Chapter 14-2 仮定法 [予習内容]:新出の単語、熟語、文法事項を調べること(60 分) [復習内容]:授業で扱った単語、熟語、文法事項を覚えること(30 分) 第15週 定期試験 第 1 回から 14 回までの講義内容について筆記試験を行う。(In-Class Examination、試験時間 45 分)	■授業概要・方法等 教科書に沿った授業展開をし、様々なトピックを扱った英語を、読む、書く、聞く、話す活動を通して、トピックの理解に必要な語彙や文法を習得し、読解と聞き取りの能力向上を目指します。 ■使用言語 英語、日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2)トピックの内容を把握するのに必須の語彙を習得する。 2. (E-G2)(E-2)英文の精読によって、読解力を身に着ける。 3. (E-G2)(E-2)トピックに関することを英語で表現する。 ことができるようになります。 この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーE の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後に、模範解答と学生の試験開示を個々に行う。 ■教科書 教養課程の科学技術英語 Let's Enjoy Science & Tech English (南雲堂) 978-4-523-17913-9 ■参考文献 なし ■関連科目 英語 1、英語 2、英語 3、英語 4、英語特講、TOEIC プラス 外国文献講読 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(1 回)、方式:記述式、選択式 定期考査成績:定期試験 80%、課題小テスト 20% 90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 次の授業でやる箇所を予め辞書等を用いて調べておくこと 授業で指定された、単語、熟語、表現、文法事項を覚えること 10 月に学修時間に関する調査を実施します。 ■教員所在場所 2 号館 2 階共通教育教員室 ■授業評価アンケート実施方法 10 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス fukuoka@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 木曜日の 12 時 15 分～12 時 55 分

科目名: 微積分学演習3a 英文名: Differential and Integral Exercise 3a			
担当者: 神田 毅		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:研究員としてシンクタンクに勤務。ソフトウェア開発を担当。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 前期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)

「授業タイトル」

第 1週 「ガイダンス」「数列の発展問題」
[予習内容]: 「新基礎数学問題集」の「数列」(30 分)
[復習内容]: プリント「数列の練習問題」(60 分)

第 2週 「数列の発展問題」
[予習内容]: 「新基礎数学問題集」の「数列」(30 分)
[復習内容]: プリント「数列の練習問題」(60 分)

第 3週 「数列の発展問題」
[予習内容]: 「新基礎数学問題集」の「数列」(30 分)
[復習内容]: プリント「数列の練習問題」(60 分)

第 4週 「数列の発展問題」
[予習内容]: 「新基礎数学問題集」の「数列」(30 分)
[復習内容]: プリント「数列の練習問題」(60 分)

第 5週 **筆記試験 1 回目「数列の発展問題 (前半)」(試験時間 40 分)**

第 6 週 「数列の発展問題」
[予習内容]: 「新基礎数学問題集」の「数列」(30 分)
[復習内容]: プリント「数列の練習問題」(60 分)

第 7 週 「数列の発展問題」
[予習内容]: 「新基礎数学問題集」の「数列」(30 分)
[復習内容]: プリント「数列の練習問題」(60 分)

第 8 週 「数列の発展問題」
[予習内容]: 「新線形代数問題集」の「行列の応用」(30 分)
[復習内容]: プリント「数列の練習問題」(60 分)

第 9 週 「数列の発展問題」
[予習内容]: 「新線形代数問題集」の「行列の応用」(30 分)
[復習内容]: プリント「数列の練習問題」(60 分)

第 10 週 **筆記試験 2 回目「数列の発展問題 (後半)」(試験時間 40 分)**

第11週 「微分の発展問題」
[予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「微分法」(30 分)
[復習内容]: プリント「微分の練習問題」(60 分)

第12 週 「微分の発展問題」
[予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「微分法」(30 分)
[復習内容]: プリント「微分の練習問題」(60 分)

第13 週 「微分の発展問題」
[予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「微分法」(30 分)
[復習内容]: プリント「微分の練習問題」(60 分)

第14 週 「微分の発展問題」
[予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「微分法」(30 分)
[復習内容]: プリント「微分の練習問題」(60 分)

第15週 **筆記試験 3 回目「微分の発展問題 (前半)」(試験時間 40 分)**

授 業 概 要

■授業概要・方法等
必修科目の「基礎数学」で扱う数列の発展問題、「微積分学 I 」で扱う微分の発展問題の解説を行います。

■使用言語
日本語

■学習・教育目標および到達目標
受講者は、この授業を履修することによって、
1. (A-G1)様々な発展問題を解く。
ことができるようになります。この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。

■試験・課題に対するフィードバック方法
試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。

■教科書
指定しません。適宜プリントを配布します。

■参考文献
「新 基礎数学 問題集」大日本図書, 2012, ISBN978-4-477-02580-3
「新 線形代数 問題集」大日本図書, 2013, ISBN978-4-477-02643-5
「新 微分積分 I 問題集」大日本図書, 2013, ISBN978-4-477-02644-2

■関連科目
基礎数学、線形代数学、微積分学 I

■成績評価方法および基準 種類: 筆記試験(3 回), 方式: 記述式
最終成績: 課題が 50%、筆記試験(3 回)の平均が 50%で算出します。90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。

■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等)
自習用練習問題を提出すること。
10月に「学修時間に関する調査」を実施します。

■教員所在場所
図書館 2 階 学習指導室

■授業評価アンケート実施方法
10 月に Web にてアンケートを実施します。

■メールアドレス
kanda@ktc.ac.jp

■オフィスアワー
水曜日 4 限、木曜日 4 限

科目名: 微積分学演習3b 英文名: Differential and Integral Exercise 3b			
担当者: 神田 毅		開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容:研究員としてシンクタンクに勤務。ソフトウェア開発を担当。		アクティブ・ラーニングの形態: 該当なし ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 3	開講期: 後期	コース: 全
科目種別: 選択	単位数: 1	授業形態: 講義	単位の種別: 履修

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 第 1週 「ガイダンス」「微分の発展問題」 [予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「微分の応用」(30 分) [復習内容]: プリント「微分の練習問題」(60 分) 第 2 週 「微分の発展問題」 [予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「微分の応用」(30 分) [復習内容]: プリント「微分の練習問題」(60 分) 第 3 週 「微分の発展問題」 [予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「微分の応用」(30 分) [復習内容]: プリント「微分の練習問題」(60 分) 第 4 週 「微分の発展問題」 [予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「微分の応用」(30 分) [復習内容]: プリント「微分の練習問題」(60 分) 第 5週 **筆記試験 1 回目「微分の発展問題 (後半)」(試験時間 40 分)** 第 6 週 「積分の発展問題」 [予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「積分法」(30 分) [復習内容]: プリント「積分の練習問題」(60 分) 第 7 週 「積分の発展問題」 [予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「積分法」(30 分) [復習内容]: プリント「積分の練習問題」(60 分) 第 8 週 「積分の発展問題」 [予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「積分法」(30 分) [復習内容]: プリント「積分の練習問題」(60 分) 第 9 週 「積分の発展問題」 [予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「積分法」(30 分) [復習内容]: プリント「積分の練習問題」(60 分) 第 10 週 **筆記試験 2 回目「積分の発展問題 (前半)」(試験時間 40 分)** 第11週 「積分の発展問題」 [予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「積分の応用」(30 分) [復習内容]: プリント「積分の練習問題」(60 分) 第12 週 「積分の発展問題」 [予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「積分の応用」(30 分) [復習内容]: プリント「積分の練習問題」(60 分) 第13 週 「積分の発展問題」 [予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「積分の応用」(30 分) [復習内容]: プリント「積分の練習問題」(60 分) 第14 週 「積分の発展問題」 [予習内容]: 「新微分積分 I 問題集」の「積分の応用」(30 分) [復習内容]: プリント「積分の練習問題」(60 分) 第 15 週 **筆記試験 3 回目「積分の発展問題 (後半)」(試験時間 40 分)**	■授業概要・方法等 必修科目の「微積分学 I 」で扱う微分、積分の発展問題の解説を行います。 ■使用言語 日本語 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)様々な発展問題を解く。 ことができるようになります。この科目の履修は、本校総合システム工学科の定めるディプロマポリシーA の達成に関与しています。 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験終了後の講義で答案用紙を返却し、解答を配布します。 ■教科書 指定しません。適宜プリントを配布します。 ■参考文献 「新 基礎数学 問題集」大日本図書, 2012, ISBN978-4-477-02580-3 「新 微分積分 I 問題集」大日本図書, 2013, ISBN978-4-477-02644-2 ■関連科目 基礎数学、微積分学 I ■成績評価方法および基準 種類: 筆記試験(3 回), 方式: 記述式 最終成績: 課題が 50%、筆記試験(3 回)の平均が 50%で算出します。90 点以上「秀」GP「4」、80 点以上～90 点未満「優」GP「3」、70 点以上～80 点未満「良」GP「2」、60 点以上～70 点未満「可」GP「1」、60 点未満「不可」GP「0」とします。ただし、再試験に合格し 60 点以上あると認められる場合は、合格(素点)「可」GP「0」とします。 ■授業時間外に必要な学修:準備学習(予習・復習等) 自習用練習問題を提出すること。 2 月に「学修時間に関する調査」を実施します。 ■教員所在場所 図書館 2 階 学習指導室 ■授業評価アンケート実施方法 2 月に Web にてアンケートを実施します。 ■メールアドレス kanda@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 水曜日 4 限、木曜日 4 限

科目名: **特別活動** 英文名: specials activities				
担当者: 1～3 年生の担任教員			開講年度: 2021 年度(令和 3 年度)	
実務経験の内容: 別紙			アクティブ・ラーニングの形態: グループワーク等 ICT を活用したアクティブ・ラーニング: 該当なし	
工学科: 総合システム	学年: 1,2,3	開講期:通年	授業形態:演習、講義	コース: 全
科目種別: 必修	単位数: 1,1,1・・・1 年(30)、2 年(30)、3 年(30)=計 90 単位時間以上実施する。			

授業計画の内容及び授業時間外学修の内容(時間)	授 業 概 要
「授業タイトル」 (第 1 週～第 7 週) ・目標を計画する。(短期、中期(=今年度)、長期(卒業するまで) ・個人面談 ・全校集会 (前年度後期:クラブ・課外・ボランティア活動表彰) ・新入生オリエンテーション(1 年生) ・コース選択のための説明会 ・・・(1 年生) (2 年生) ・自校学習 ・個人面談 ・資格の紹介 ・交通安全教育・情報ネチケット教育 ・主権者教育(模擬選挙・投票など) ×1 回 ・・・(2 年生) ・試験一週間前 学年集会(試験の心得・服装頭髪指導・その他注意) ・自校学習(課題提出) ---------- [前期中間] (第 8 週～第 15 週) ・目標・計画をふりかえり、次の目標を計画する。 ・個別面談 ・球技大会・体育祭(近大高専No1 グランプリ:(KK1-GP)の準備・出場メンバー割り当ての指導 ・自校学習 ・キャリア教育・進路ガイダンス ・全校集会(選手壮行会) ・長期休み前注意指導等 ・個別面談 ・試験一週間前 学年集会(試験の心得・服装頭髪指導・その他注意) ・自校学習(課題提出) ---------- [前期期末] (第 16 週～第 22 週) ・目標・計画をふりかえり、次の目標を計画する。 ・個人面談 ・学修時間の実態と学修行動の把握に関するアンケート。授業科目毎のアンケート。 ・全校集会(前期:クラブ・課外・ボランティア活動等表彰) ・自校学習 ・金曜市民公開講座×1 回 ・・・(1 年生) (3年生) ・文化祭(高専名張祭)におけるクラス催し物決定についての指導 ・コース選択のための説明会 ・・・(1 年生) (2 年生) ・個人面談 ・交通安全教育・情報ネチケット教育 ・防災避難訓練 ・試験一週間前 学年集会(試験の心得・服装頭髪指導・その他注意) ・長期休み前注意指導等 ・自校学習(課題提出) ----------[後期中間] (第 23 週～第 30 週) ・目標・計画をふりかえり、次の目標を計画する。 ・個人面談 ・研修旅行について説明会×2 回 ・・・(2 年生) ・自校学習 ・個人面談 ・試験一週間前 学年集会(試験の心得・服装頭髪指導・その他注意) ・自校学習(課題提出) ・各コースの研究ポスター発表を見学(@高専名張祭) ----------[後期期末] ・目標・計画をふりかえり、次の目標を計画する。 ・個人面談 ・キャリア教育(学内企業セミナー) ・学修時間の実態と学修行動の把握に関するアンケート。授業科目毎のアンケート。 定期試験・・・定期試験は実施しません。	■授業概要・方法、学習・教育目標および到達目標等 特別活動は、学級活動・ホームルーム活動、学生会活動、学校行事などを行なう。 具体的には、 ・自校学習を通じて、「実学教育」と「人格の陶冶」という学園の教育理念を学ぶ。 ・学生個人個人については、これまでの義務教育で受動的だった学習を各学生に目標を立てさせて、その状況を把握し、次の目標へとスパイラルアップさせていき、自主的・能動的な学習へ移行を進める。 ・全体指導や個別面談補通じて、学習へのモチベーションを上げさせる。 ・ホームルーム活動を通じて、人としての守るべきルールを理解させていく。 ・自校学習・市民公開講座を通じて、広い視野で、色々な分野のことを学習する。 ・球技大会・体育祭(KK1-GP)や、文化祭(高専名張祭)等の学生会活動を通じて、クラスで協力して実施し、よりよい人間関係を築き、協調性を養うことを学ぶ。 ■使用言語 日本語 ■試験・課題に対するフィードバック方法 試験は実施しない ■教科書 ・自校学習については、近畿大学制作の DVD や下記の2冊の書籍など ・「我ｶﾞ生、難行苦行ﾅﾚﾄﾞﾓ我ｶﾞ志、近畿大学ﾄﾅﾚﾘ」炎の人生 著者:田島一郎 発行・編集 世耕弘一先生建学史料室 ・「世耕弘一とその時代」 著者:荒木康彦 近畿大学附属高等学校特別推薦入学試験の受験選考方法検討委員会 ・金曜講座については、講演者自作の配布プリント ■参考文献 特になし ■関連科目 ■成績評価方法および基準 合否で判定する。欠席が年間 30 単位時間中 6 単位時間を超えて欠席した場合は、不認定となる。